レカロシート取付説明書

UL0015-1802002

メーカー	車種	年式	型式	部品番号
マツダ	ロードスター	2015/8〜	ND	2082.008.1/2
アバルト	124 スパイダー	2016/10〜	NF2	

品質向上などのため、予告なしに一部の仕様を変更する場合があります。

レカロ株式会社

〒527-0066 滋賀県東近江市柴原南町 1570-1

レカロコール　0800-919-5881　　受付時間 10:00 - 12:00 13:00 - 18:00

営業日　土日、祝日、弊社休業日を除く平日　　※IP 電話以外よりお掛けください。

http://www.recaro-automotive.com

※レカロ純正ベースフレームのマッチング情報はクラブレカロのホームページよりご覧ください。

http://www.club.recaro-automotive.jp

INSTALLATION MANUAL　UL0015-1802002

＊UL0015＊

確認 注意事項

この度は、レカロ純正ベースフレームをお買い上げいただきありがとうございます。
本製品は、レカロ株式会社が日本国内のアフターマーケット向けに販売しているレカロシートの車種別専用取付部品となります。必ず本取付説明書をお読みいただき、本書記載の注意事項や取り付け方法に従い、正しくかつ安全に使用してください。尚、レカロシートならびに本製品は、レカロ正規取扱販売店での取り付けを推奨しています。
誤った取り付け方法や使用方法での不具合などにつきましては、一切の責任および品質保証の義務を負いかねますのでご了承ください。また本製品は、実車をもとに採寸・設計しています。しかしながら車両の個体差や経年変化などにより車両フロア取り付け部分の寸法に差が生じる場合もあります。その際、本製品を加工・改造して取り付けることは大変危険となりますので、絶対に行わないでください。
また、本製品に貼付されているラベルは、車検の際に必要な確認番号が記載されていますので、絶対に剥がさないでください。

主な作業項目

(1)　バッテリーのマイナス端子を外して放電させます。
(2)　純正シートを固定しているフロアボルト及び各種配線（カプラー）を取り外します。
(3)　純正シートを車外に取り出します。
(4)　サイドエアバッグ警告灯の消灯作業を行います。
(5)　純正シートからシートベルトバックルを取り外し、それを専用サイドアダプターに取り付けます。
(6)　上記専用サイドアダプターとアダプターフレームを取り付けたベースフレーム本体を固定します。
(7)　レカロシートを専用サイドアダプターに固定します。
(8)　スライドレバーを取り付けます。
(9)　上記で作業したレカロシートを車内に入れ、シートベルトの配線を繋ぎます。
(10) ベースフレーム本体を車体にフロア固定用のボルトで仮締めし、高さや角度を専用サイドアダプターにて調整します。
(11) フロア固定用のボルトを本締めします。

⚠ 警告

注意　レカロシート取り付け後、純正シートに内蔵されているサイドエアバッグの保護を受けることができなくなります。

注意　ボルト、ナット類の締め付け、及び取り外しの際には、サイズの合った工具を使用して安全かつ確実に行ってください。また締め付けトルクの指示がある場合には、必ず規定トルクで締め付けてください。

⚠ 注意

注意　シートの取り外しや取り付けなどを行う場合、ケガしないよう手袋などをはめて行ってください。
またシートとフロアの隙間に手を入れる場合には、突起物などでケガしないよう十分に注意してください。

注意　ドアトリムやコンソールボックスなどを傷つけたり、部品を破損したりしないよう注意してください。

注意　電動シートやサイドエアバッグ付車両などへのシート取り外しと取り付け作業をする場合、車両本体の取扱説明書に従って、バッテリーのマイナス端子を外し、放電してから配線作業を行ってください。
尚、最近の車両は多様化された車載コンピューターが搭載されておりますので、バッテリー端子を取り外す際は車両に不具合が発生しない様、予め車両の取扱説明書を確認の上作業をする様にしてください。

注意　純正シートにハーネスコネクターがある場合には、車外へ持ち出す前に取り外してください。

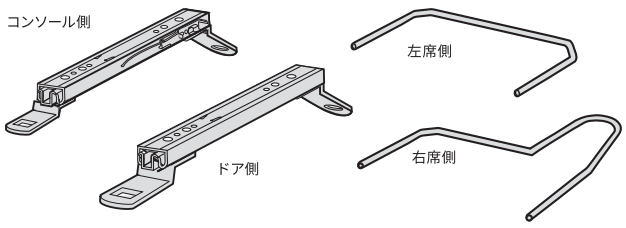
確認 構成部品

ベースフレーム構成部品			数量	備考
①	ベースフレーム本体		2	ドア側 x 1、コンソール側 x 1
②	スライドレバー		1	ベースフレーム本体に取り付け
③	専用サイドアダプター		2	ドア側 x 1、コンソール側 x 1
④	アダプターフレーム		2	ドア側 x 1、コンソール側 x 1
⑤	キャップボルト	M8 x 20mm	8	アダプターフレームとベースフレーム本体の取り付けに使用（4pc） アダプターフレームと専用サイドアダプターの取り付けに使用（4pc）
⑥	キャップボルト	M8 x 30mm	2	シート本体と専用サイドアダプターの取り付けに使用
⑦	キャップボルト	M8 x 35mm	2	シート本体と専用サイドアダプターの取り付けに使用
⑧	フランジナット	M8	8	アダプターフレームとベースフレーム本体の取り付けに使用（4pc） アダプターフレームと専用サイドアダプターの取り付けに使用（4pc）
⑨	皿バネワッシャー	M8	12	アダプターフレームとベースフレーム本体の取り付けに使用（4pc） アダプターフレームと専用サイドアダプターの取り付けに使用（4pc） シート本体と専用サイドアダプターの取り付けに使用（4pc）
⑩	低頭六角ボルト	M10×20mm	2	ベースフレーム本体の車内フロア固定時に使用（リア側）
⑪	皿バネワッシャー	M10	2	ベースフレーム本体のフロア固定時に使用（リア：レッグ上側）
⑫	平ワッシャー	外径32mm	2	ベースフレーム本体のフロア固定時に使用（フロント：レッグ上側）
⑬	スペーサー	10mm	4	シート本体と専用サイドアダプターの取り付けに使用
⑭	スペーサー	5mm	2	シート本体と専用サイドアダプターの取り付けに使用

シートベルトバックルアンカー取り付け用			数量	備考
⑳	UNFボルト		1	シートベルトバックルの取り付けに使用
㉑	UNFナット		1	
㉒	平ワッシャー	外径24mm	1	
㉓	歯付ワッシャー		1	
㉔	ウェーブワッシャー		1	

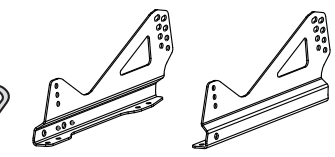
その他の構成部品			数量	備考
㉚	エッジプロテクター	210 x 150	1	ベースフレームエッジ部分の保護に使用（フェルトストリップタイプ）
㉛	エアバッグキャンセラー		1	エアバッグ消灯作業に使用（赤色カプラー x 2含む）

確認 構成部品

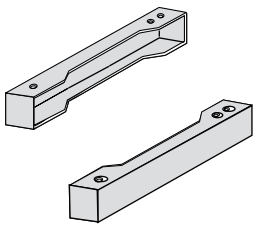


① ベースフレーム本体

② スライドレバー
※付属はどちらかひとつ



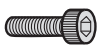
③ 専用サイドアダプター



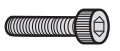
④ アダプターフレーム



⑤ キャップボルト M8 x 20



⑥ キャップボルト M8 x 30



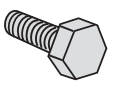
⑦ キャップボルト M8 x 35



⑧ フランジナットM8



⑨ 皿バネワッシャーM8



⑩ 低頭六角ボルトM10x20



⑪ 皿バネワッシャー M10



⑫ 平ワッシャー外径32mm



⑬ スペーサー10mm



⑭ スペーサー 5mm



⑳ UNFボルト



㉑ UNFナット



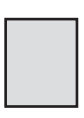
㉒ 平ワッシャー 外径24mm



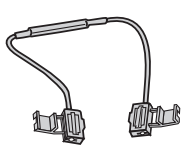
㉓ 歯付ワッシャー



㉔ ウェーブワッシャー



㉚ エッジプロテクター
（A5サイズフェルト）



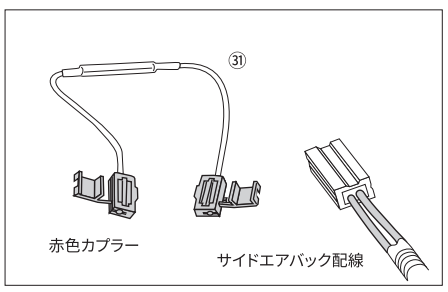
㉛ エアバッグキャンセラー

準備 純正シートの取り外し

純正シートの樹脂カバーやシート取り付けボルト、シートベルトバックルのコネクターなどを取り外して、
純正シートを車外へ取り出します。

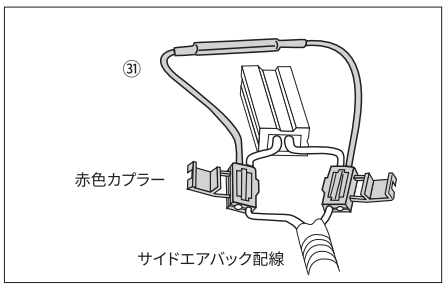
サイドエアバッグ警告灯の消灯作業

エアバッグキャンセラー㉛を使用してエアバッグ警告灯の消灯作業を行ってください。
誤ってエアバッグ警告灯が点灯した場合には、自動車ディーラーでの消灯作業が必要となります。



車内フロア側サイドエアバッグの配線に付属のエアバッグキャンセラー㉛を割り込ませ、フロア側からの信号が付属のエアバッグキャンセラー㉛を通るようにします。

㉛ エアバッグキャンセラー



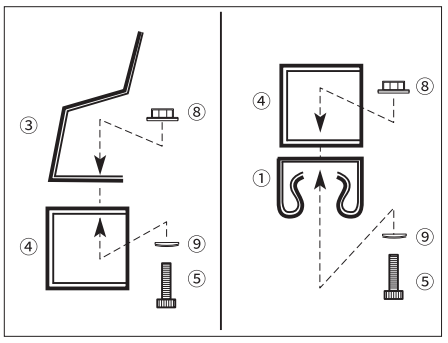
付属の赤色カプラーを使用して、車両フロア側サイドエアバッグの配線と付属のエアバッグキャンセラー㉛をそれぞれを挟み込むようにして短絡させます。

㉛ エアバッグキャンセラー

取付 専用サイドアダプターの取り付け

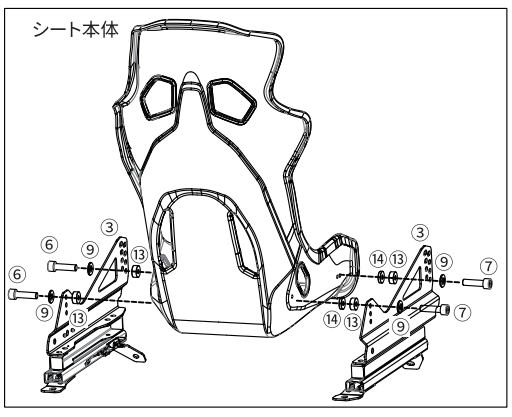
専用サイドアダプターとベースフレームの取り付け

注意 低いポジションに調節する場合は、必ず走行前に安全な視界、メーター類の視認性、確実に各種運転操作が出来る事を確認してください。調節が不十分な場合、安全な運転が出来ず重大な事故の原因となりますので、公道で使用しないでください。



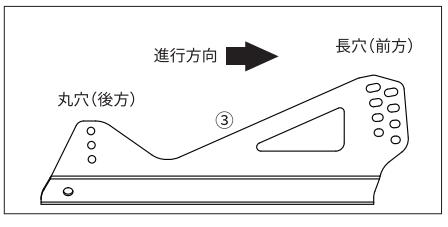
① ベースフレーム本体
③ 専用サイドアダプター
④ アダプターフレーム
⑤ キャップボルト M8 x 20
⑧ フランジナット M8　　※締め付けトルク
⑨ 皿バネワッシャー M8　　キャップボルト M8　24±2 N.m

レカロシートと専用サイドアダプターの取り付け



レカロシート本体と付属の専用サイドアダプター③を下記締め付けトルクにて取り付けます。その際、付属のスペーサー10mm⑬とスペーサー5mm⑭を間に挟み、左右のオフセットを調整します。
コンソール側に付属のスペーサー10mm⑬を挟み、ドア側には付属のスペーサー5mm⑭＋スペーサー10mm⑬を挟んでください（ドア側は合計15mm）。

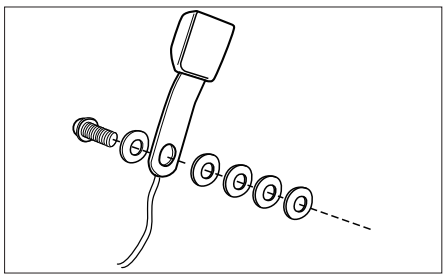
③ 専用サイドアダプター
⑥ キャップボルト M8 x 30
⑦ キャップボルト M8 x 35
⑨ 皿バネワッシャー M8
⑬ スペーサー 10mm　　※締め付けトルク
⑭ スペーサー 5mm　　キャップボルト M8　24±2 N.m



専用サイドアダプター③の穴位置によりレカロシートの高さや角度を調整することが出来ます。
運転前に各種運転操作が正確に行える事を確認してください。
又、取り付け位置によって前後のスライド量が、シートと内装の干渉により減少することが有りますので、ポジションを確認の上、調整してください。

取付 シートベルトバックルの移動

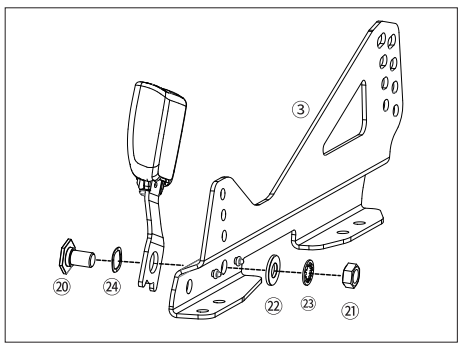
シートベルトバックルの取り外し



純正シートに装備されているシートベルトバックルを取り外します。

シートベルトバックルとつながっているコネクターも集合カプラーから取り外します。

シートベルトバックルとアンカーブラケットの組み付け



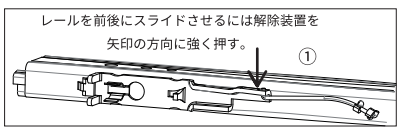
取り外したシートベルトバックルを、付属の取付部品を使用して専用サイドアダプター③のアンカーブラケットに下記締め付けトルクにて取り付けます。

※締め付けトルク
UNFボルト　44±4 N.m

③ 専用サイドアダプター
⑳ UNFボルト
㉑ UNFナット
㉒ 平ワッシャー 外径24mm
㉓ 歯付ワッシャー
㉔ ウェーブワッシャー

取付 専用サイドアダプターの取り付け

ベースフレーム本体①上部のスライドレールを前後にスライドさせて、ベースフレーム本体①と付属のアダプターフレーム④を取り付けます。



より低いポジションで使用される場合、アダプターフレーム④を外すことができます。(下記注意参照)

注意 調整ポジションによっては、ベースフレーム本体①のスライド解除装置（上図参照）とシート座面下が干渉し、スライドが確実にロックできず、衝撃や振動等でロックが外れ大変危険です。必ず車両へ取り付ける前に、解除装置とシートとの隙間が5㎜以上あることを確認してください。隙間が十分に確保できない場合は、専用サイドアダプター③の穴位置を変更し、シート取り付け位置を再調整してください。

注意 調整ポジションによっては、シートとスライドレバー②が干渉し、スライド調整できない場合があります。干渉する場合は、専用サイドアダプター③の穴位置を変更し、シート取り付け位置を再調整してください。

取付 ベースフレームの固定

車両フロアにベースフレームを固定

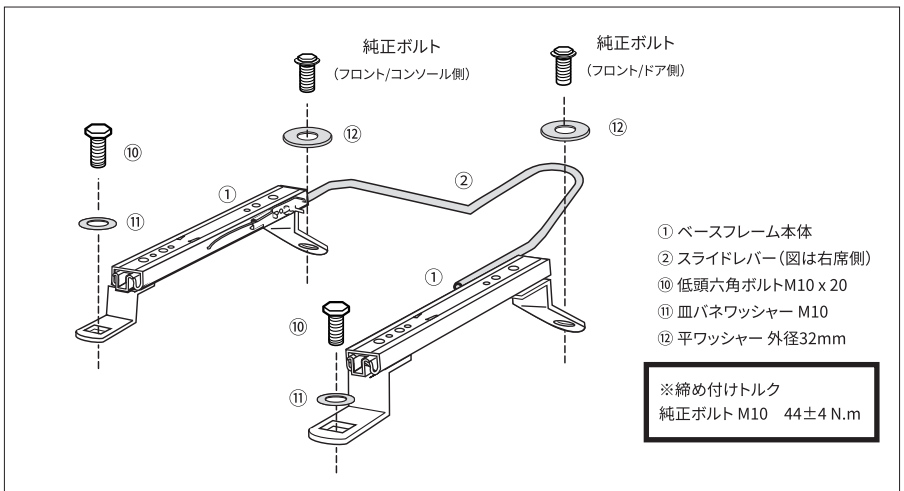
レカロシートが取り付けられたベースフレーム本体を車内に入れ、シートベルトバックルにつながっているコネクターを車両フロア側のコネクターとつないでください。

注意 シートベルトバックルのコネクターが外れている状態で、イグニションスイッチをONにしないでください。エアバッグ警告灯が点灯する恐れがあります。

次に純正ボルトと付属の低頭六角ボルト⑩を使用して、レカロ純正ベースフレーム本体①を車両フロアに固定します。ボルトを仮締めした後、注意しながらシートに座り、高さや角度がお好みの位置になっていることを確認してください。取り付け位置が良ければボルトを下図内の締め付けトルクにて本締めしてください。

注意 付属のエッジプロテクター㉚を適当な長さに切り、レカロ純正ベースフレームのレッグ部など金属部のエッジに危害性防止のために貼付けてください。

注意 レカロ純正ベースフレーム本体①のレッグ部が車両フロアのカーペットを挟んでしまう場合には、フロアカーペットを少しカットして取り付けしてください。（挟んでしまうことでボルトが緩む原因にもなります）



① ベースフレーム本体
② スライドレバー（図は右席側）
⑩ 低頭六角ボルトM10 x 20
⑪ 皿バネワッシャー M10
⑫ 平ワッシャー 外径32mm

※締め付けトルク
純正ボルト M10　44±4 N.m

ベースフレーム本体とスライドレバーの取り付け

スライドレバー②をベースフレーム本体①に取り付けます。スライドレバー②の穴をベースフレーム本体①のツメ部に差し込みながら、スライドレバー②をフックに固定します。右席側と左席側では、スライドレバー②の形状が異なります。

※左席側スライドレバー②には、長さが調節できるよう3つの穴があります。
※右席側スライドレバー②は2つの穴のみとなります。スライドレバーとフロアの干渉を防ぐため右図のようにAの穴を使用して取り付けてください。

